

Visual Meta Groupware におけるグループウェア構築時の

コミュニケーション支援ツールの提案

9 8 5 1 5 9 藤井 義真

(指導教員 速水 治夫 教授)

1. はじめに

グループウェアとは、人と人との協調作業を支援するコンピュータシステムである。

特定のユーザグループにとって最も理想的なグループウェアを低コストで導入できるためのシステムとして Visual Meta Groupware (以下 VMG と略す) が開発されている。VMG は Web 上で様々な用意された部品をビジュアルに組み立ててグループウェアを構築できるシステムである。しかし現状の VMG ではグループウェアの構築時にコミュニケーション手段として基本部品を使用してしまう、構築中のグループウェアを見ながらのリアルタイムなコミュニケーションが困難、メンバーの作業による共有領域の変化が予測できないといった問題点がある。そこで、本研究では VMG におけるグループウェア構築時にテキストベースのリアルタイムなコミュニケーションが可能な支援ツールを提案し、実装と考察によって有効性を確認した。

2. ツールの構成

本ツールの構成を図 1 に示す。本ツールはサーバとクライアントで互いに遠隔メソッド呼び出しを行うことによってリアルタイムなテキストベースのコミュニケーションを実現している。

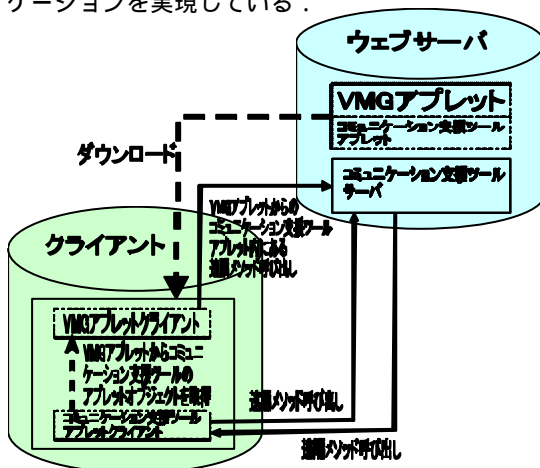


図 1. コミュニケーション支援ツールの構成

3. ツールの機能と特徴

本ツールを導入した VMG の動作画面の例を図 2 に示す。図 2 の (a) は VMG を実行するアプレット、図 2 の (b) は本ツールである。本ツールは、テキストエリ

アとテキストフィールドからなっている。テキストフィールドに文書を書き込み Enter キーを押すことで、VMG にアクセスしているメンバー全員のテキストエリアに書き込んだ内容が瞬時に表示される。また、メンバーの誰かが VMG にログイン・ログアウトした、VMG の共有領域内に基本部品を配置したといった行動をテキスト文書で表現し、行動が起こると瞬時に VMG にアクセスしているメンバー全員のテキストエリアに表示される。これらのコミュニケーション内容は時系列に順次テキストエリアに表示される。

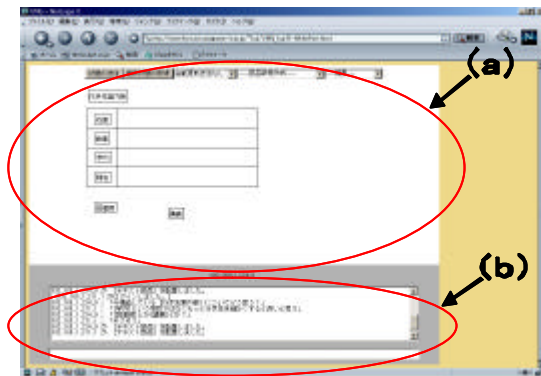


図 2. 本ツールを導入した VMG 動作画面

4. 考察

指摘した問題点を本ツールにより解決できる期待があることを確認した。また、共有領域内のグループウェアに対し、グループ内の評価が反映された改良作業が直ちに行えることが期待できる。しかし本ツールには、コミュニケーションの内容を一つのテキストエリアに一括して表示しているため、メンバー間で意見が入り乱れて混乱する、VMG にアクセスした者しか本ツールを利用したコミュニケーションができないといった課題があることが確認された。また、本ツールの特徴として、VMG へアクセスしたという情報が VMG にアクセスしているメンバー全員に送られるようになっている。そのことにより、グループ内のプライバシーが守られないという課題もあることが確認できた。

5. むすび

今後は上述した課題を解決し、本ツールの実用化を目指す。その後、本ツールを導入した VMG の使用実験を行うことを検討している。